

銀山温泉におけるマイカー規制等実証実験 結果報告

～銀山温泉における持続可能な観光地づくり、滞在価値の向上をめざして～

尾花沢市（商工観光課）
令和8年3月31日

1. はじめに

非日常をゆったり感じる、銀山温泉 ～GINZAN is an Art Museum～

- 銀山温泉はこれまで、あの美しい景観を守る取組を地域住民と行政の協働により進めてきました。
- 今後もこの取組を大事にしつつ、「観光地として選ばれ続ける」「観光地としてあり続ける」ためには、**持続可能な観光地づくりと来訪者にとっての滞在価値向上に資する取組**が重要です。
- 「100年前の面影を残す銀山温泉の空間を**美術館に見立てて**、美術館にふさわしい**ルールづくり**や**お客様に喜んでいただける付加価値を追求**しながら、ノスタルジックな景観を**今後100年先まで守り続けたい**。」こうした思いを関係者同士で共有し取組を続けていくことが、観光業に携わる方々の生業を守り、ひいては「**市民が住み続けられるまち**」の**実現**につながっていくと考えています。
- しかし、降雪期における**豪雪地帯ならではの交通支障の発生**（積雪路面での立ち往生や路上駐車、これらに伴う除雪作業の遅れなど）や過度な混雑により、**地域住民等の安全性低下**や**来訪者の満足度低下**などの懸念も生じています。
- この度の実証実験は、**銀山温泉の魅力向上と来訪者にとっての滞在価値向上**に必要な施策を深掘りするため、「**地域住民と来訪者の安全確保**」と「**混雑緩和**」につながる取組の効果検証を目的として実施したものです。

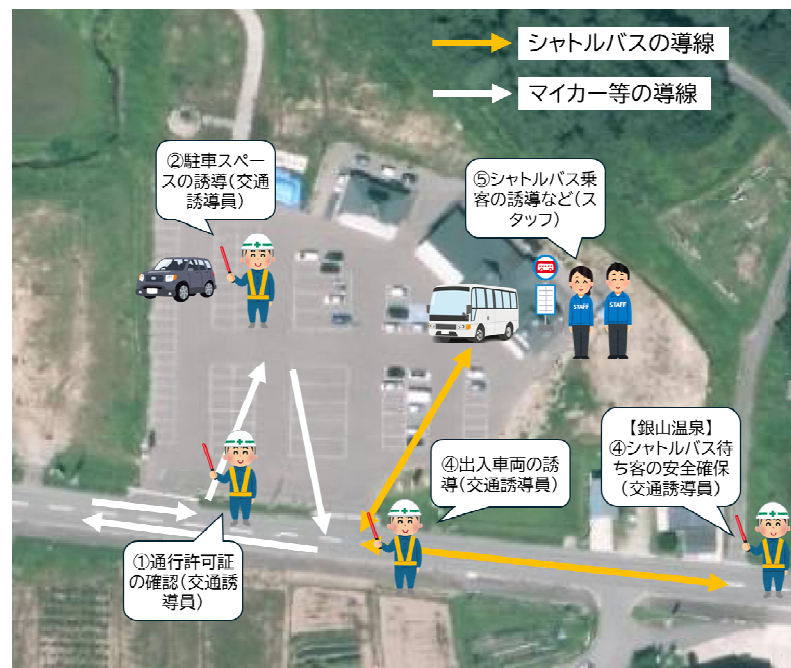
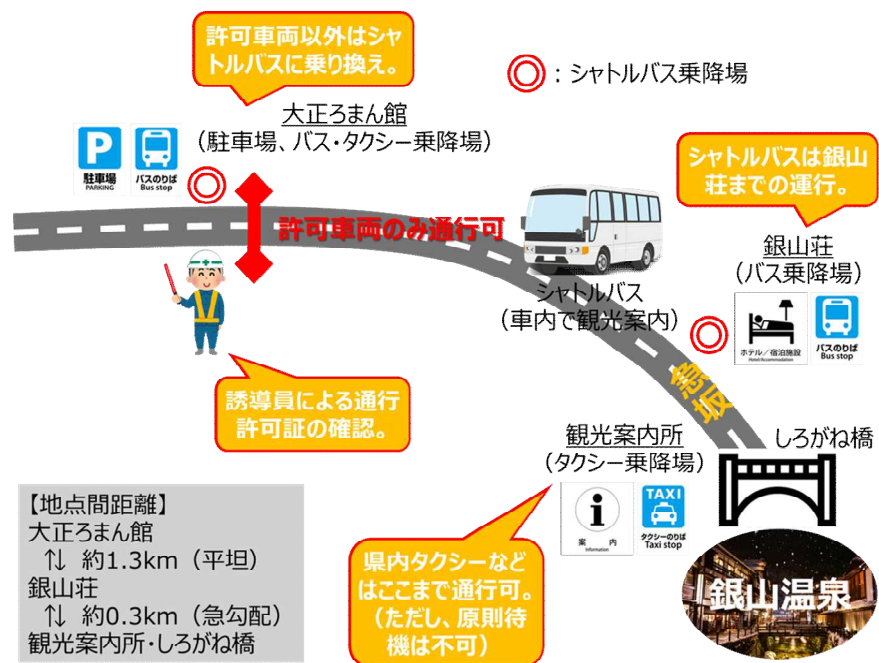
2. 実証実験の概要

実施期間 (秋) 令和7年11月1～3日／11月22～24日
 (冬) 令和7年12月20日～令和8年1月31日

実施時間帯 午前9時～午後9時まで

実証実験対象者 自家用車（レンタカーを含む）、貸切バス等で来訪した日帰り客

- 実証実験の方法
- 交通支障の減少に資する取組（パークアンドライド方式によるマイカー規制）
 - 混雑緩和・来訪者の分散化に資する取組（温泉街への流入調整）



3. 実証実験の結果まとめ

<交通支障の減少に資する取組>

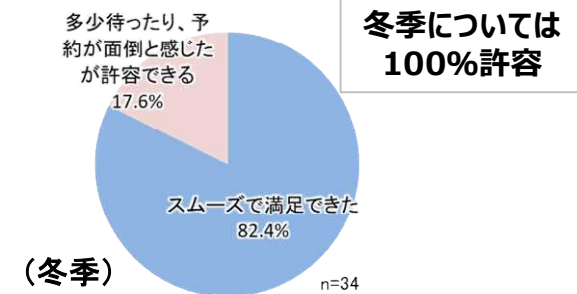
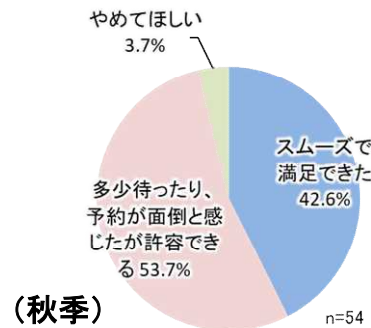
具体的な取組内容

①マイカー規制（パークアンドライド方式）

- ✓ パークアンドライド拠点（大正ろまん館 駐車場） 入口に誘導員を配置
- ✓ 自家用車（レンタカーを含む）や大型バス等で来訪した日帰り客に対して実証実験について説明し、大正ろまん館 駐車場に誘導
- ✓ 自家用車等を駐車してシャトルバスに乗り換える「パークアンドライド」にご協力いただいた

結果及び成果（おもなもの）

- 実証期間中は**交通支障事案（車両の立ち往生や路上駐車など）の減少を確認**することができました
- 地域住民等を対象に実施した調査によると、**前年度より交通支障が減少したと回答した割合は8割超**、残り2割弱は前年度と同程度であったとの回答を得たことから、**地域住民の満足度も高い取組であったことを確認**することができました
- 日帰り客を対象にしたアンケート調査の結果によると、「マイカー規制の満足度」は秋季、冬季ともに極めて高い結果となりました



- 一方、特に年末年始において昨年を超える来訪があり、たびたび渋滞が発生しました

3. 実証実験の結果まとめ

<混雑緩和、来訪者の分散化に資する取組>

具体的な取組内容

結果及び成果（おもなもの）

②大型バスの駐車予約制 【秋のみ】

- ✓ 事前予約（有料）により、大正ろまん館に最大2時間、確実に駐車できる枠を設定

- 予約の実績は0件
- 運転手の聞き取りによると、「特に外国人向けの団体ツアーでは、行程に変動が生じる可能性が高く、**時間の予測が難しい**」という声が多く寄せられました
- 一方、**他地域や旅行会社との連携強化の重要性**について、改めて認識しました

③シャトルバスの定時運行（約20分間隔で運行） 【冬のみ】

- ✓ 1時間に3往復運行を基本に、運行本数を終日調整
- ✓ 温泉街への流入客数を調整

- 運行本数の調整により、**温泉街における滞留人口の平準化**が一定程度図られました
- 来訪者アンケート調査により、「来訪者が混雑を感じる時間帯」がわかったため、**来訪者目線での受入許容人数（目安）**を把握することができました
- 乗車までの時間を明示できたことで、**乗車待ち環境も改善**されました

シャトルバス乗車場所の様子
（発車時刻の目安を案内中）



シャトルバス乗車場所の様子



3. 実証実験の結果まとめ

<混雑緩和、来訪者の分散化に資する取組>

具体的な取組内容

④ シャトルバスの時間帯別運賃【冬のみ】

- ✓ 1日を3区分に分け運賃を変動
(9時～800円、11時～500円、
14時～1,000円)
- ✓ 混雑が予想される時間帯の運賃を高く設定

結果及び成果（おもなもの）

- 行動変容効果は小さい（運賃の多寡は行動変容の動機付けにつながりづらい）ことがわかりました
- 一方、**運賃変動の取組自体は許容されることを確認することができました**

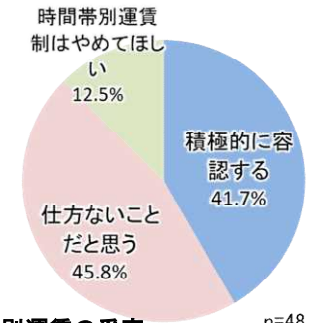
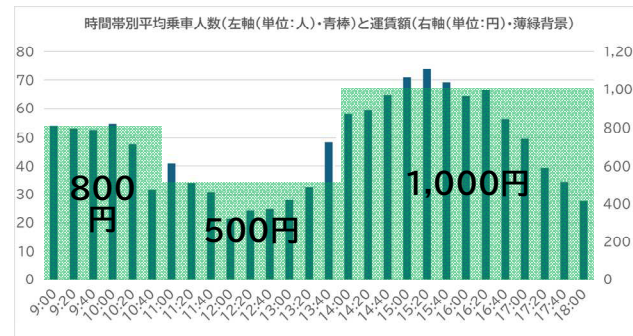


図 時間帯別運賃の受容 n=48

⑤ シャトルバスの優先乗車料金（プライオリティ・パス）【冬のみ】

- ✓ 乗車待ちの列に並ぶことなく、予約した時間のシャトルバスに乗車できるしくみ
- ✓ 事前予約制（追加料金500円）

- 日を追うごとに予約数が増えていったことから、**来訪者（特に団体客）のニーズを捉えた有効な取組**であることを確認することができました

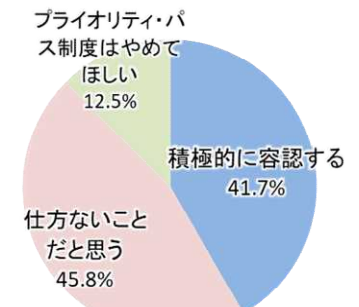
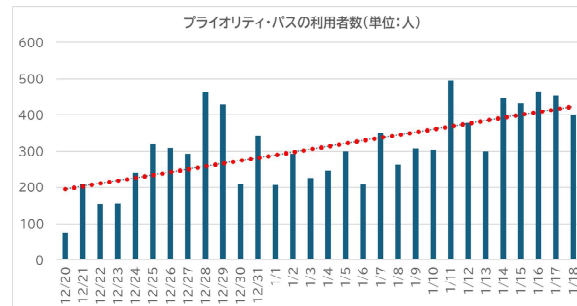


図 プライオリティ・パスの受容 n=48

3. 実証実験の結果まとめ

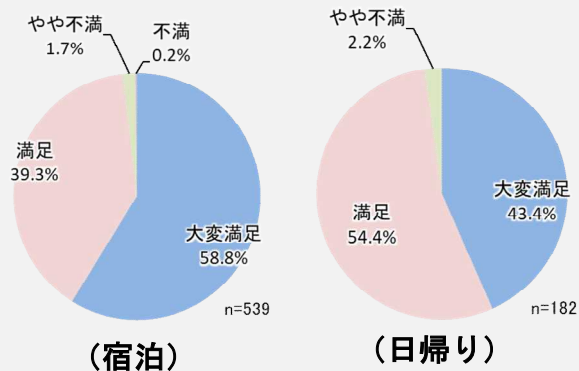
<混雑緩和、来訪者の分散化に資する取組>

具体的な取組内容	結果及び成果（おもなもの）
⑥混雑予報カレンダー 【冬のみ】 ✓ これまでの実績により、混雑日や混雑時間帯の予報を公表	➤ アンケート調査によると、予報カレンダーの認知度は10%程度でした ➤ 今回の実証から始めた取組であることから、 継続して発信していくことが必要 であると認識しました

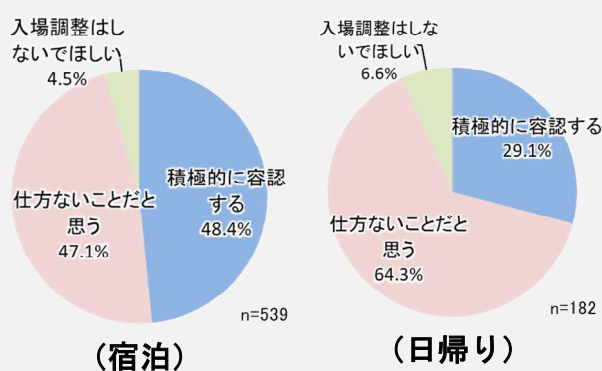
<来訪者アンケート結果（おもなもの）>

サンプル数 721人（宿泊客：539人、日帰り客：182人）
 調査方法 アンケート用紙の留め置き、調査員による聞き取り
 男女比 男性47.6%、女性51.5%、無回答0.9%

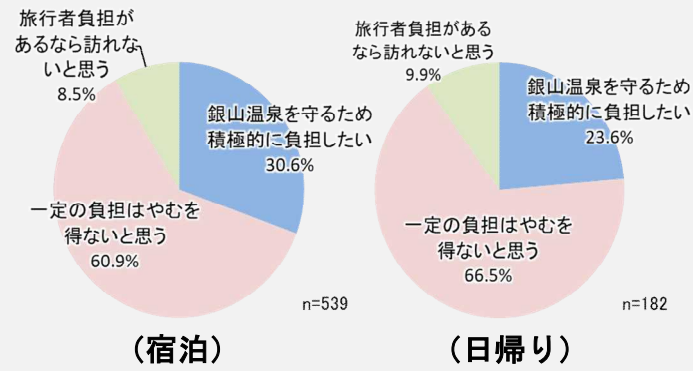
～银山温泉の満足度～



～入場調整に関する受容～



～入場調整に対する費用負担への受容～



4. 実証実験の総括

- 年末年始を中心に想定を超える来訪があり、その影響で長時間の渋滞が発生する事態となりました。
- しかし、こうした状況下でも大きな事故やトラブルもなく、マイカー規制の満足度も高かったことから、マイカー規制自体の有効性を再確認することができました。
- 全体を通して、今回の実証実験で実施した取組は、**銀山温泉の魅力向上や滞在価値の向上（オーバーツーリズムの未然防止・抑制）に一定の効果があったと評価**しています。
- 一方で、引き続き検討が必要な事項も見えてきました。

<今後に向けて>

- 想定を超える来訪は、銀山温泉の魅力と人気を裏付ける結果となりましたが、今後は予約制の拡大検討や旅マエ情報の発信継続などにより、**より一層の時間的分散**が求められます。
- 「来訪者（特に日帰り客）がどのような情報を求めている、どのように情報を収集しているか」を研究しつつ、**ニーズに応じた情報発信の方法を模索し、滞在時間延長やリピート率向上**につなげる必要があります。
- マイカー規制実施時間帯外（深夜や早朝）の来訪やルールをかいぐるような来訪、シャトルバスに乗車せず徒歩で温泉街に向かう来訪者も散見されたことから、何らかの対策を検討する必要があります。
- 将来的には、マイカー規制の対象者や対象期間を拡大することも視野に、**より一層「安全な観光地づくり」**を進める必要があります。
- 混雑を感じる時間帯や場面などについて、来訪者視点と地域住民視点で齟齬が生じている可能性があります。そのため、双方の感じ方に折り合いをつけつつ、**受入許容をさらに深掘り**する必要があります。
- 銀山温泉エリアにとどまらず、**市内全域での魅力創出や磨き上げ**などに取り組み、**需要の面的分散**にも挑戦することが求められます。

～私たちは引き続き、銀山温泉に合った観光管理のあり方について検討し、取組を続けていきます～

